



ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —



雪のたっぷりみ満喫

なかよしクラブ (亀ヶ崎第二)

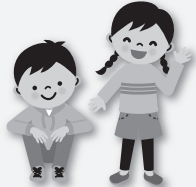
雪が降る季節になると、子ども達は「今日は雪遊びできるかな?」とワクワクした様子で学校から帰ってきます。まだ雪遊びをするほど積もっていない時には「もっといっぱい降ってほしい」と残念そうに大雪を願う子ども達・・・。

やっと雪遊びができるくらいたくさん雪が積もると、張り切ってグラウンドに出かけます。膝ぐらいまで積もった雪の道を、1年生は上級生がつけた足跡を踏んで雪に埋もれないように工夫をしたり、誰も通っていない雪の道をぐんぐん進んで行き、雪の上に転がる元気な子がいたり・・・みんな体全体から雪遊びの楽しさを発散させています。

雪遊びが一番人気があるのは亀っこ山から滑り降りるそり遊びです。だれが一番遠くまで滑れるか競ったり、腹ばいで滑ってみたり、それぞれ工夫をしながら楽しんでいます。しばらくすると男の子たちが集まって雪合戦を始めます。サラサラの雪を丸めるのに苦戦しながらグラウンド全体を走り回ります。

年々降雪量が減り、雪遊びをする機会が減ってきていますが、たくさん積もった時には外に出て、雪国ならではの冬の遊びを体験してほしいと思っています。

冬の空へ響け!



子ども達の笑い声♪



よいしょ〜! よいしょ〜!

みななでつきたてのお餅と、芋煮を食べ、お腹がいっぱいになりました。お母さん方から味付けをして頂いている間、子ども達は、すまいるクラブにてゲームを行い

ました。こちらのゲームにも、お母さん方からご協力を頂き、各ゲームの担当をして頂きました。「うまい棒つり」「わなげ」「当てくじ」をして盛り上がっていました。今回は、秋レクレーションということで、もちつき、芋煮パーティーを行いました。今年度は二度もバザー実施日が台風と重なり実施できず。何か出来ないかということで、バザー係リーダーさんと相談し、秋レクレーションを開催いたしました。

今回は年度途中の行事を追加したため、「秋レクレーション係」がいない状況だったのですが、参加者全員の保護者の方から快く当日の係を引き受けて頂き本当にありがとうございました。

(指導員 徳田 美央)

楽しかった「おひさま・すまいる」合同レク
おひさまクラブ(松原第一)

十一月十八日(日)に、おひさまクラブ・すまいるクラブ合同で、もちつき&芋煮パーティー(秋レク)を行いました。

当日は、二学童合わせて101名の参加!もちつきでは、お父さん方から餅米をいい具合に餅に近い形までこねて頂き、その後子ども達とお家の方とペアになり、ぺったん!ぺったん!周りの子ども達餅をつく度に「よいしょ!よいしょ!よいしょ!」とかけ声を掛けていました。つき終えた餅を、お母さん方から、まあるくして頂き、その後、「きなこ・砂糖醤油」の味付けをして頂きました。



うまい棒つり・うま〜いったかな?

親子でクリスマス会

にこにこクラブ(松陵)

例年の冬季レクは「餅つき」をしていましたが、今年は新たな試みをしようと、アンケートの実施や係会議を重ねてきた結果、十二月一日に「親子クリスマス会」をすることになりました。

学童児四十五人を含む総勢八十九人の参加で、ランタン制作、ケーキトッピング、マジックショー、子どもたちの発表、親子で合唱、プレゼントという流れで会が進みました。

クリスマスランタンやケーキ作りは予想以上の出来栄で、手助けしてくれたお父さん・お母さんを子どもたちは「さすが!」とい



みんなから注目されているのは、なんだろう♪

う眼差しで見えていました。
自分で飾ったケーキをいただきながらマジックショー見学。みんな種明かしをしようと身を乗り出して食い入るように見ていました。出し物の練習時間も取れない子どもたちでしたが、学童で毎日踊っていた「USA」をお家の人にも見てもらいたいと、有志が発表してくれました。

その後、保護者の方々に中学時代の合唱コンクールを思い出してもらい、大人も子どもも全員で「マイメロディー」を合唱しました。最後に、サンタさんとトナカイさんがプレゼントを持って来てくれるみんな大興奮？

土曜日の午後に親子で触れ合い、温かく楽しい時間を過ごさせて頂きました。(指導員 岩浪 和恵)



サンタさん、似合う～!!



集中しています!!

天気が安定しない季節、また、日の短い季節になると、どうしても室内遊びが増えて来ます。毎年、たぶの木クラブでは子ども達から必ずと言っていい程「毛糸で指編みしたい」「ポンポン作っちゃダメ？」など、「そろそろ毛糸を準備してオーラ」を全面に、子ども達から声が上がってくるのです。主に毛糸を使って作る物は、指でマフラーを編む『指編み』と、専用の用具を使って作る『ポンポン作り』の二種類で、その二つを組み合わせて「ポンポン付きマフラー」を作る子も。

一年生は作った事がない子が大半のため、上級生の子から作り方を聞いたり手伝ってもらったりし

ポンポンマフラーかんせい!!
たぶの木クラブ(琢成)

あなたの健康チェック?

あなたの腰、大丈夫ですか?

人間が二足歩行するようになり、腰部は身体の中心になりました。しかし、腰部にある骨は背骨のみで、その周りの筋肉には強いストレスがかかっている状態です。腰部の筋肉の疲労を取り除くストレッチを紹介します。

〔注意事項〕

- ・ストレッチは息を吐きながらゆっくりと行ってください
- ・ストレッチ感ではない痛みがある場合はすぐに中止してください
- ・通院中の方や重度の疾患・障害がある方は、医師に相談してください

◎やり方

両肩を浮かさないようにして、両膝を立てます。肩を離さないようにして顔と膝を逆方向に捻ります。



◎やり方

ストレッチ側の足をもう一方の太ももに乗せ、その太ももごと自分の体のほうに引っ張ります。ストレッチ側の膝は90～100度程曲げるようにします。

ストレッチ側の膝を曲げすぎないように注意しましょう。



(佐藤 克実)

で覚えていきます。慣れてくると、「今日は、お父さんに作ってあげ



ぼくだって、うまいぞ～!

る」「昨日妹も欲しいって言っていたから」とお家の人へのプレゼントとして作る子もいますよ。毛糸の色選びも楽しいようで、色んな組み合わせを試してはオリジナルのマフラーを作っているようです。上級生になると、毛糸を使ってミサンガを作る子もいます。刺繍系ではなく毛糸で作るミサンガも、色合いがキレイで太さも厚さも出てくるため、カバンや筆入れのファスナーに付けて楽しんでいるようです。(指導員 遠田 紀子)



「本物の山伏さんにホラ貝のリクエスト、子どもたち興奮!!」(南平田)



「地元の方々の読み聞かせに、子どもたち感動!!」(平田)



「酒田二中吹奏楽部のふれあいコンサート、トロンボーンに子どもたち熱狂!!」(浜田・若浜)

……がくほれん、あれこれ…… 指導員の勤務時間について

「学童の指導員は、自分の子どもを保育園に迎えには行けないの?」という指導員の切実な声があります。

平日の指導員の勤務時間は、午前十時三十分から午後六時三十分



もしくは午後七時までという、勤務時間に特殊性のある学童で、「子育てをしながら」「介護をしながら」、学童の指導員として、いつまでも働き続けることのできる職場環境を作り、職員のワークライフバランスを推進することが急務となっています。

このことは、学童保育の将来の存亡にかかわる喫緊の課題と位置づけ、学童を運営するものとして組織を上げて勤務時間のあり方を検討してきました。その結果、昨年の二月から試行期間としてスライド勤務時間の選択制を実施、七月から本格実施をしました。

学童は、午後五時頃になると登所児童の帰宅が始まり、五時三十分頃には、概ね六十%から七十%が帰宅します。そのことを踏まえ、選択できる勤務時間として、

① 午前九時三十分～

午後五時三十分

② 午前十時～午後六時

③ 午前十一時～午後七時

の三つの時間帯から月六回を限度とし、事前登録制で勤務時間を選択できるようにしました。

保護者の皆さんが学童にお子さんをお迎えに行くのと、指導員が「おさき」と帰宅するのと一緒になることもあると思いますが、指導員もこれからお子さんの保育園へのお迎えや子育て、更には、介護に従事するなどの時間に当てることができるようになります。

労働環境の改善は、今や避けて通れない時代になり



ました。当法人としても指導員が少しでも「生活と仕事の調和」を図ることができるように努めていきたいと思っていますので、保護者の皆様のご理解のほどよろしくお願いします。

(事務局)

ご寄付を

ありがとうございます

田宮和朗様

(酒田市みずほ)

四年続けてのご寄付、ありがとうございます。

お医者さんであります田宮様のご寄付ですので、子どもたちの健康に役立つものに当てさせていただきます。

あとがき

この冬は雪が少なく、子ども達は少し不満があったようでしたが、屋内外で様々な工夫を凝らした活発な活動が行われました。親子での楽しい思い出作りや家庭で出来ないような珍しい体験を通して、逞しく優しい人に成長してくれたら幸いです。

(杉山)